

授業に関するアンケート（2017年度春学期・学部） 実施結果に対する授業評価報告

- ・授業アンケート結果の数値や「教員コメント」に基づいて、学科等の総括を概ね4ページ以内でご記入ください。
- ・原則として、すべての項目にご記入ください。
- ・可能な限り、箇条書きでご記入ください。

学科等
人間生活学科

（1）授業実施に関する質問結果について

1. 授業内容はシラバスに合っていましたか。
概ね良好な評価であったが、一部の科目で、授業内容の理解が十分ではなく、不一致との回答もあった。また、社会情勢に応じてシラバスとは異なる内容を盛り込むことも必要な場合があるとの意見もあった。
2. 受講生の理解度を確かめながら授業が進められていましたか。
科目によりバラついている様子であるが、各教員は、授業内容・クラス規模等を勘案し、コメントペーパーやマナビーを導入して、理解度の確認に努めている様子がみられた。
3. 授業レベルは自分に合っていましたか。
科目により多様な結果であったが、どのレベルに合わせて授業を実施するかは、教員にとって大きな課題であると思われる。
4. 教員からの一方的な授業ではなく、教員と受講生又は受講生同士の双方向性に工夫がされていましたか。
実習系科目では総じて評価が高く、講義系科目においても、各教員による工夫が感じられた。今後のさらなる工夫の必要性を感じている教員も多かった。
5. 提出物に対するフィードバック（採点、添削、マナビーでのコメント、チェック後の返却など）は効果的に行われていましたか。
アンケート結果は全学平均並であるが、現時点で十分でないと感じている教員も多いようである。今後、どのような形でのフィードバックが望ましいのか、検討する必要がある。
6. 言葉による説明だけでなく、受講生の理解を促進する工夫がなされていましたか。
多くの授業において、教員側は工夫を凝らしているように思われるが、受講生に十分に伝わっているか、という点においてはさらなる工夫が必要な場合もある。
7. 自主学習を促す工夫がなされていましたか。
実習科目では、多くの授業外時間を使って自主作業をすることが必要不可欠である。講義科目においてもさらなる授業外時間学習を求めると、学生の休息時間を奪ってしまうことになる。自主学習は必要且つ効果的であると考え、時間で測ることが重要ではないようにも感じている。今後、さらなる検討が必要である。
8. 工夫してほしいと思ったことを選んでください（複数選択可、なしも可）。
パワーポイント等、授業時の情報提供の手段については、各教員が模索している様子が伺えた。

（2）この授業の学修行動に関する質問結果について

9. この授業の予習、復習、自主学習に1週当たり平均どれくらいの時間をかけましたか。 ※学内外を問わず授業に間接的に関係のある学習を含む。ただし、授業時間は除く。
実習科目では多くの時間が使われている。一方、本学科の特性においては、講義科目における自主学習の多くが、時間では測れないものも多い。（日常生活の中で見聞きしたり思索したりすることが多く含まれるため区分が難しい）
10. あなたはこの授業に関して積極的に意見を述べたり質問をしたりしましたか。
各教員がクラスに応じた形式で工夫をしているようであったが、受講生による評価は十分ではない結果であった。今後、さらなる工夫が必要である。
11. あなたはこの授業の分野又は関連分野の学習を更に深めたいですか。
一部の科目において評価が低かったようであるが、概ね良好であった。
12. あなたがこの授業を履修した理由は何ですか（複数選択可）。
科目により多様な回答であったが、総数を見れば、授業内容で履修を決めた学生が多く、本学科の特性を考えると自然な回答結果であると思われる。

(3) この授業の到達目標に関する質問結果について

13. 到達目標を達成しやすいように指導がなされていきましたか。
概ね平均的な結果であったが、クラス受講者数、実習/講義等、授業の特性により到達目標の設定しやすさ、あるいはその目標の伝えやすさが異なるのではないかと思われる。
14. あなたは到達目標を達成できたと思いますか。
概ね良好な結果であった。
15. DWCLA10 の内、この授業の履修を通してその獲得や向上に役立ったと感じられるものをすべて選んでください (複数選択可、なしも可)。
DWCLA10 の獲得・向上については、学科ごとに特性(違い)が出て当然とも思われるが、「創造力」や「思いやる力」の回答が全学よりも高く、「リーダーシップ」が低いのは本学科の特性であるとも言える。「コミュニケーション力」や「プレゼンテーション力」がやや低い点については、今後の工夫が望まれる。

(4) その他

--